

第47回 技能五輪全国大会実施要領

造園職種競技委員会

<大会スケジュール>

- 今大会は次の通りのスケジュールで行われます。

<10/24日(土)>	<10/25日(日)>
集合 8:00	集合 8:00
作業開始 8:30	作業開始 8:30
昼 食 12:00	昼 食 11:30
作業再開 13:00	作業再開 12:30
作業終了 16:30	作業終了 13:30 (2日目標標準4時間)
※初日7時間00分	打ち切り 14:00
標準11時間00分 打ち切り11時間30分	

<競技時間>

- 競技時間は、標準時間11時間00分、打ち切り時間は11時間30分です。
打ち切り時間を超えた場合は採点をしません。
- 笛により集合、競技開始、休憩、終了など合図をします。
笛が鳴ったら速やかに行動するように心がけてください。
- 課題が完成したら付近にいる競技委員または補佐員に聞こえるように「作業終了」と手をあげて告げます。作業時間の確認を受けます。その後、場外で待機して下さい。

<工具・支給材料・仕様など>

- 工具は電動工具以外（竹垣に使用する充電式ドリルは除く）は自由に使用してください。
競技開始前に、工具の確認をしますので、各区画の前に並べてください。
- 支給された材料が材料表の通りか確認してください。但し材料の再支給や交換は、しませんので、支給材料を生かして作業してください。
草花・下草類は、選手下見の日に1組見本を提示しますので確認して下さい。
- 石材、芝生、樹木及び花ものは全部使用しても残しても結構です。
- 植栽は、必要と思われる剪定は行って結構です。
- 土が不足した場合は、補佐員に申し出て下さい。
- 初日の終了時点で、石材は指定された場所にかたづけて下さい。
ただし、2日目に修正が必要な選手はそのままにしておいて構いません。
- 木枠は水平と見なします。観客側から見た方向を正面として作庭すること。
- 花ものについては、ポットから抜かないで植え込んでください。

13. 木枠を利用する場合は、木枠の内側を利用して下さい。
木枠に印（しるし）などをつけても構いませんが後で消すこと。
枝葉については木枠からはみ出しても構いません。
14. あらかじめ競技課題と図面にメモ書きを入れたものを持ち込むことは禁止です。
型紙のように形を製作した物を持ち込むこともできません。
ただし、競技が始まってからは構いません。

<安全衛生>

15. トイレや水分補給は適宜行って結構ですが、作業区画から離れる時は競技委員か補佐員に申し出て下さい。
また、気分が悪くなった時は速やかに近くにいる競技委員・補佐員に申し出ること。
16. 安全な作業を特に心掛けて下さい。
万一怪我をした場合は、速やかに近くにいる競技委員・補佐員に申し出ること。

<禁止事項>

17. 競技中、他の競技者や見学者などと話をした場合は、失格となります。
コーチや指導員の方から声を掛ける場合も同様です。
また、道具の貸し借り、携帯電話も禁止です。
18. 応援者・コーチ等にアドバイスを受けるときは、休憩時間に行ない、競技会場内では行なわないこと。
競技区画内及び選手昼食会場に応援者・コーチ等が立ち入ることは、例え時間外であっても禁止とします。
19. 競技委員・補佐員の指示に従わない場合及び不正行為を行った場合は、退場となります。
20. 競技期間中は、観客を初めマスコミ関係者などの取材がたくさんあります。
移動や集合などの行動については、迅速を旨としてください。
ダラダラした行動は造園業界全体の印象が悪くなる恐れがあります。
造園の若手職人らしい爽やかな行動を心がけましょう。

第47回技能五輪全国大会「造園」職種 採点項目及び配点

採 点 項 目		配 点
作品採点	正確さ 出来栄え	30点 50点
作業時間採点	経過時間に応じて減点	10点
作業態度採点	工具の取り扱い 安全作業 仕様書・図面の理解 作業手順 作業現場の清潔さ	10点

1. 作品採点の箇所

当日主査が口頭で開示する。

2. 順位の決定

最終得点が同一の場合は、作業時間が少ない者(組)を上位とする。

3. 失格要件

- (1)11時間30分を超えて完成しなかった場合は、失格とし、採点しない。
- (2)作業の途中で作業を放棄した場合は、失格とし、採点しない。
- (3)作業の途中で、退場を宣告された場合も失格とし、採点しない。

公 表

第47回技能五輪全国大会「造園」職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

1 競技時間

標準時間	11時間00分
打切り時間	11時間30分

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (4) 使用工具等は、各自必要と思われるものを使用してよい。ただし、電動工具の使用はできない。また、あらかじめ印をした用具などは使用を禁止する。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずる事がある。
- (7) 原則としてあらかじめ設定された木枠（3500×2500 mm）の中で作業する。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、保護帽を着用すること。
なお、保護メガネを必要とする作業においては着用すること。
- (9) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (10) 競技中は携帯電話（メール、時計の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (11) 競技中は課題と図面以外の参照を禁止とする。
- (12) 課題と図面にメモ書きを入れることは禁止とする。
- (13) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3 仕様

3-1 地均し

客土を使用し、地盤を計画高に施工すること。

3-2 石積み

石材（自然石）を使って図面のように石積みを行うこと。空積みとし、加工はしないがアタリは取ってもよい。

3-3 小舗石敷き

小舗石を使用し、図面のように砂目地で仕上ること。

3-4 切石敷き

御影の切石を図面の位置に土極めで敷設すること。

3-5 ゴロタ石敷き

ゴロタ石を図面のように敷設すること。

3-6 水鉢

砂敷きの海の中の図面の位置に配置すること。台石として、石積み用石材の中より1石を選んで据えること。

3-7 竹垣

支給された竹垣材料を使用し、図面の位置に竹垣を施工すること。

- (1) 丸太柱の天端は切りそろえること。
- (2) 押し縁、胴縁及び立子は丸竹で使用すること。
- (3) 一番上の押し縁、胴縁及び玉縁（笠木）は唐竹2つ割とすること。
- (4) 胴縁は、左の丸太柱に末節止めとし、くぎ止めとすること。
- (5) 押し縁は、右の丸太柱に末節止めとすること。
- (6) 立子と胴縁との結束は、 シュロ繩を2本使いで裏綾掛けいぼ結びとし、胴縁側で結束すること。
- (7) 押し縁の結束は、シュロ繩2本使いで裏綾掛けねじれいぼ結びとし、しりをいぼの上端から40mmに切りそろえること。
- (8) 玉縁の結束は、シュロ繩3本使いで頭の出が玉縁の上端から70mmのとっくり結び・ねじれいぼとし、返しをいれ、玉縁の上端から下がり150mmに切りそろえること。
- (9) その他当日見本で確認すること。

3-8 植栽

支給された高中木及び低木は図面のような感じになるように土ぎめで植栽し、必要と思われる剪定はしてもよい。

3-9 草花と下草の植付け

支給された草花と下草を、指定された区画に修景を考慮し植え付けること。

ただし、そのうちの7ポットを使い、自由に植栽すること。

3-10 芝の植付け

目地なし、目土なしで施工すること。

3-11 地均し・整地

4 支給材料（1名分）

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
石積み用石材	100~500 mm程度	0.2 m ³	つくば石
小舗石敷用石材	小舗石 90×90×90 mm	120個	
敷石用石材①	切石 600×300×60~80 mm	2枚	
敷石用石材②	ゴロタ石 40~100 mm 程度	1.0 m ²	つくば石
川砂		3袋	海および目地用
水鉢	Φ400 mm 程度	1個	テラコッタ
竹垣用丸太	末口 105 mm、L = 2,400 mm	2本	
竹垣用唐竹①	18本×4節上がり周 90 mm 程度	6本	
竹垣用唐竹②	7本×	1本	
シマトネリコ	H = 2,500 mm	1本	株立ちもの
ツバキ	H = 1,800 mm	1本	
ベニシダレモミジ	H = 1,500 mm	1本	
サツキ	H = 300 , W= 300 mm	25株	
草もの	リュウノヒゲ等 75~90 mm 程度	50ポット	
季節の花	現地で調達できる物	40ポット	
コウライ芝	切芝、またはロール芝	3.0 m ²	
シュロ繩	径3mm、長さ25m（黒）	2束	
くぎ	長さ45mm	10本	

5. 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参しても良い。
- (2) サンダー等電源（発電機も含む）を必要とする工具は使用できない。
ただし、竹垣施工に使用する充電式ドリルについては持参可とする。

6. その他の注意事項

- (1) 石材を加工する作業の際は、必ず保護めがねを着用し、他の選手又は見学者の迷惑にならぬよう配慮すること。
- (2) 材料については都合により直前に変更することもある。
- (3) 印刷方法などで課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。

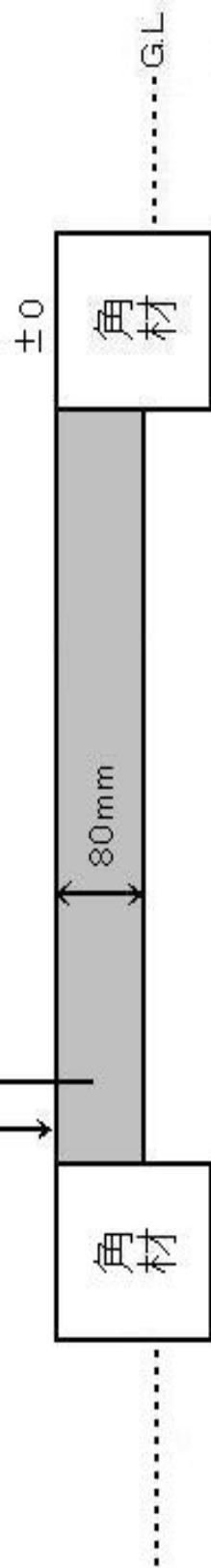
公 表

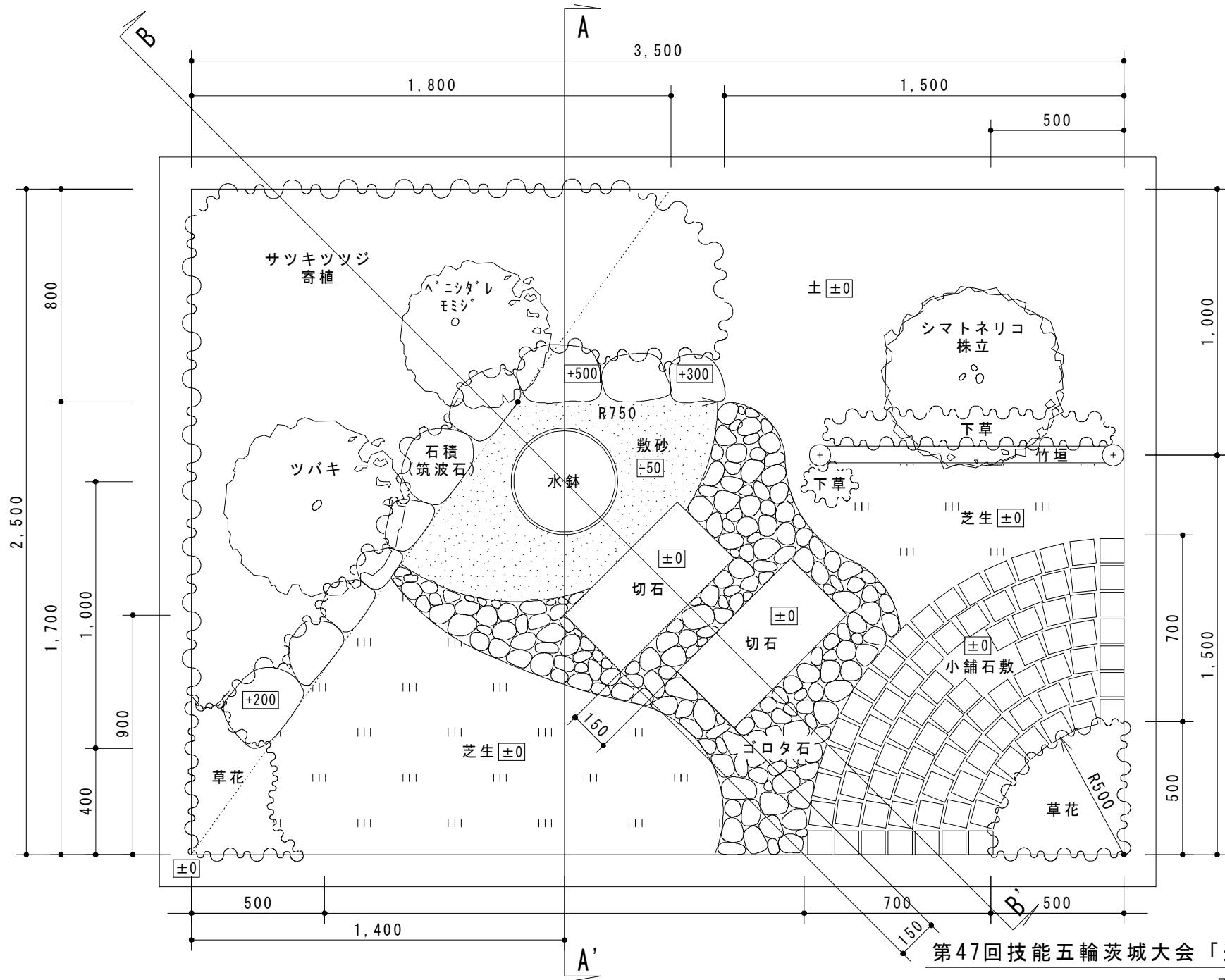
第47回技能五輪全国大会「造園」職種競技会場設備基準

設備の名称		寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
区 分	品 名			
設備類	作業区画	一人当たり3500×2500mm	26	<ul style="list-style-type: none"> ・配置図については別紙 ・各区画は、角バタ角(120mm)で水平に枠を作り、枠上部(ちり80mm)まで山砂で盛土する。(別添図を参照。) ・山砂は1区画およそ7m³ ・四隅はかすがいで止めること。 ・残土及び剪定枝集積場所を設ける。 ・会場周辺は、夜間は警備することが望ましい。
	コンパネ	900×1800×12mm	26	事務用品・消耗品一覧に記載
	客土	一人当たり0.4m ³	11m ³	各区画の脇に置いておく 山砂(礫のないもの)
		予備	3m ³	山砂(礫のないもの)会場内に用意
運搬具	一輪車		10台	茨城県の補佐員等から借用
工作用 測定具類				
検査用 測定具類	計測棒	一寸角、長さ3000mm	4本	主査用意またはコンベックス

※G.L.が水平でなくとも(傾斜していても)、盛土の天端は水平であること。

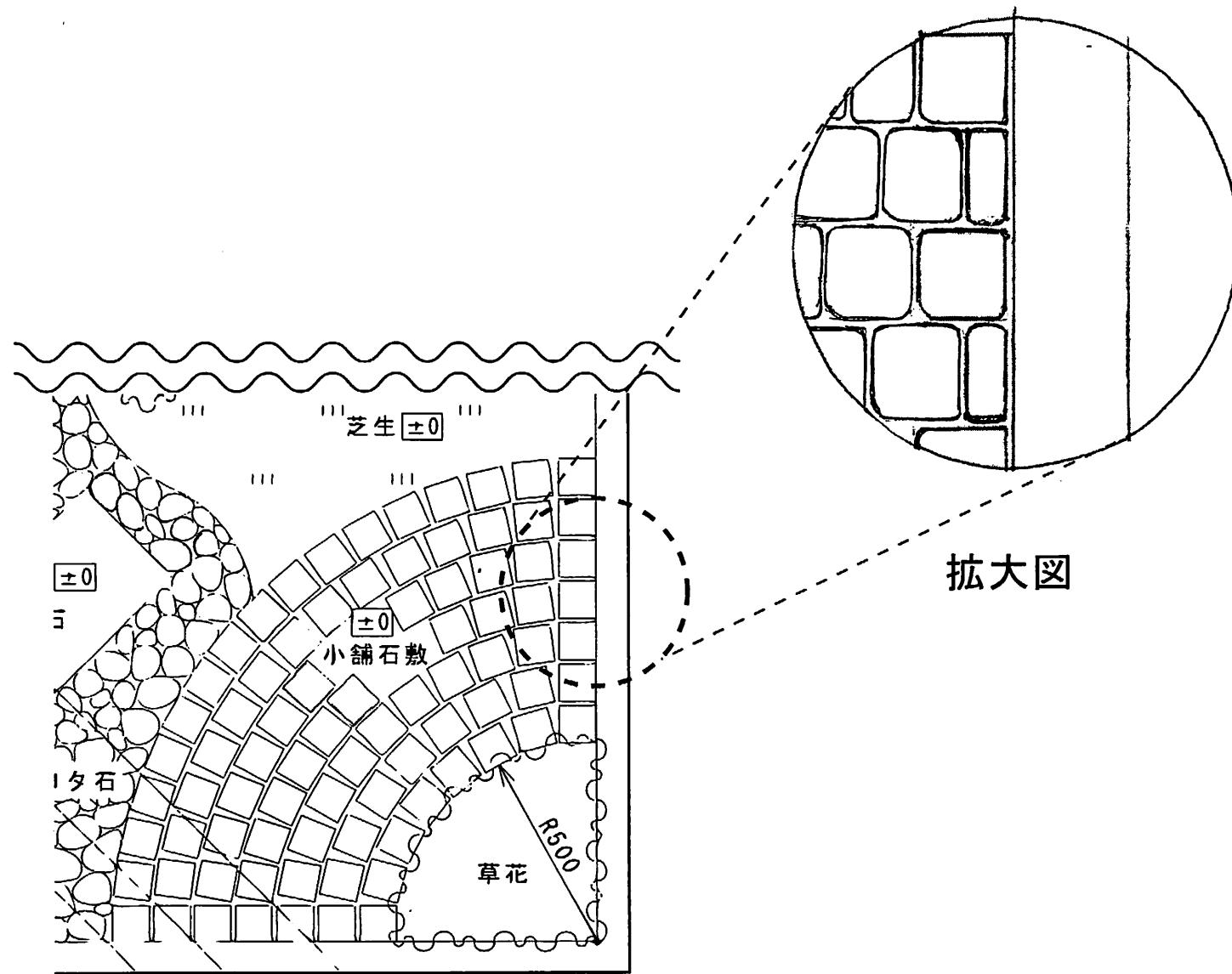
→ 角材天端まで80mm盛土する





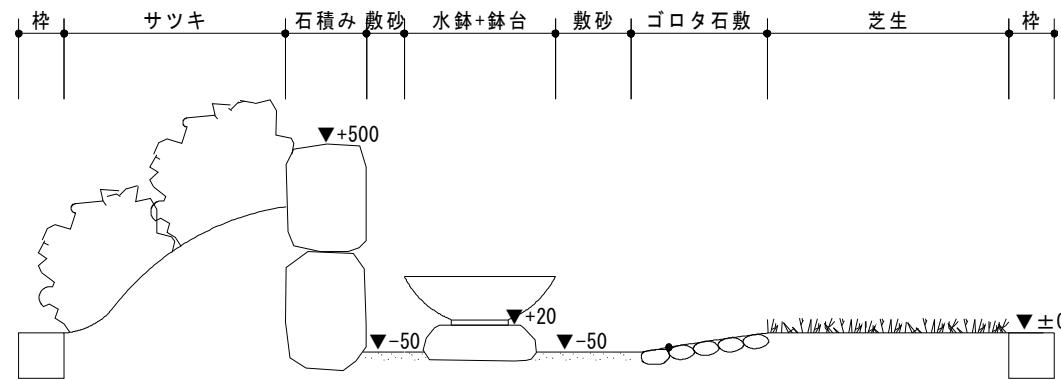
第47回技能五輪茨城大会「造園」職種課題

平面図 S=1:20(A4)

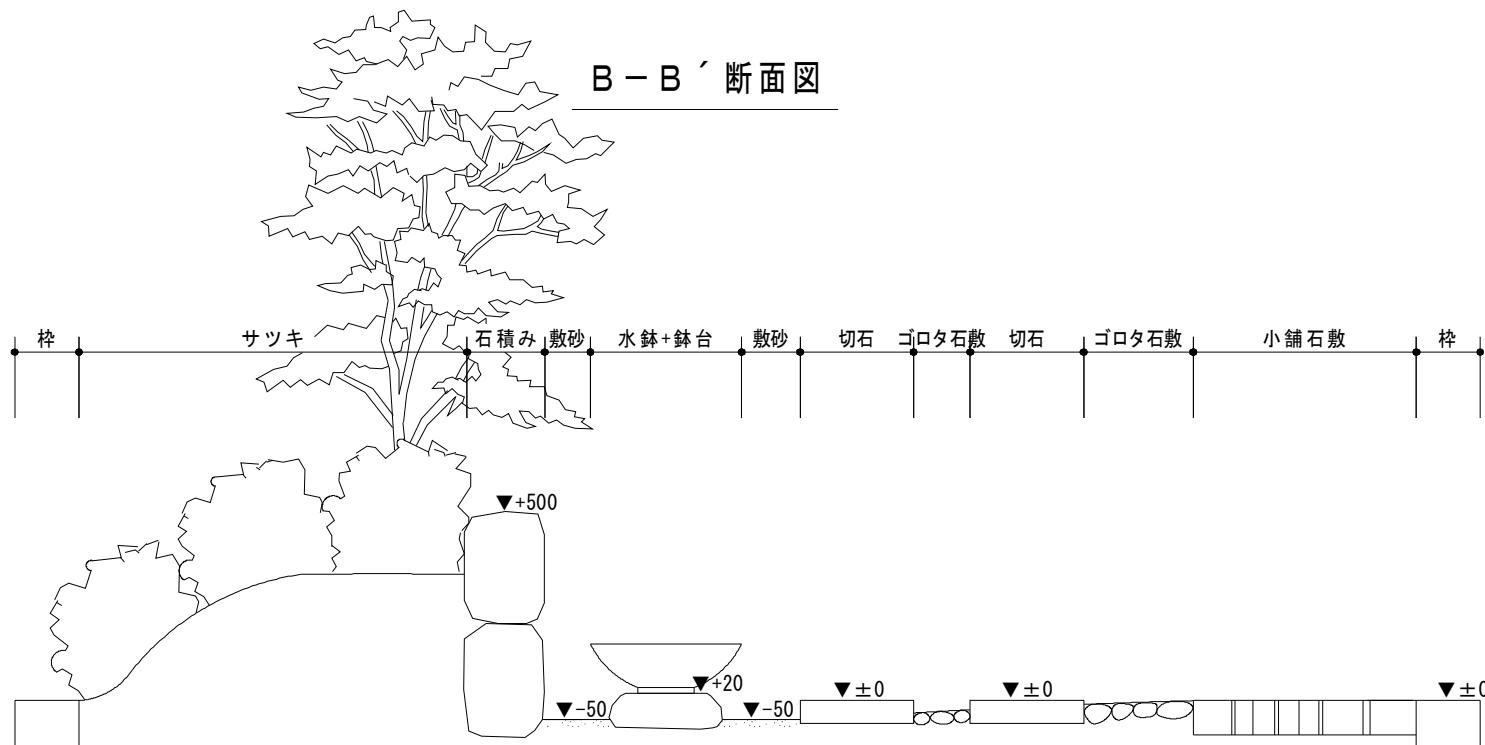


拡大図

A - A' 断面図

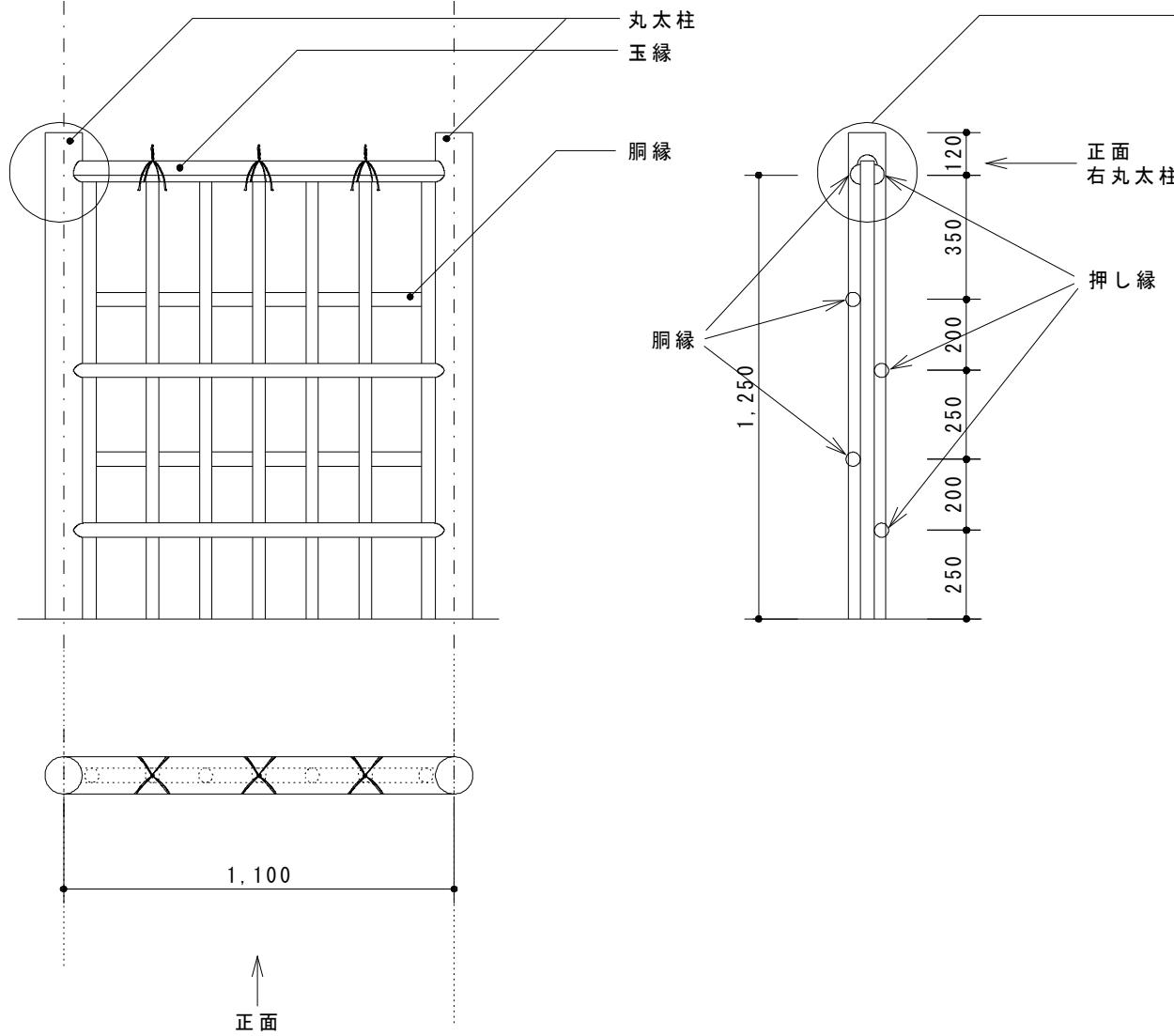


B - B' 断面図



竹垣詳細図

玉縁詳細（拡大図）



課題図面印刷時の注意事項

第47回大会の課題図面は“PDF”ファイルで公開します。

PDFファイルを印刷する時に、設定により縮尺寸法が微妙にズレることがありますので、以下のように設定して印刷するようにして下さい。

※この設定は造園連本部のシステム環境下で行っていることを記述しています。全ての環境下で同じとは限りませんので、各自で設定を調整して印刷するようお願いします。

※この件についてのご相談やご質問には応じられません。

①印刷画面で“ページの拡大／縮小” → なし

②“PDFのページに合わせて用紙を選択”のチェックをはずす

印刷によって縮尺が多少変化しますが、図面に表示されている寸法を優先にして下さい。

第47回技能五輪全国大会
『造園』職種参加選手 殿

技能五輪造園職種競技委員会
主査 宇田川辰彦

技能五輪全国大会公表課題について

このことについて、第47回技能五輪全国大会・造園職種競技課題についてのご質問・ご要望は、8月28日（金）までに中央協会宛に文書（電話は不可）でお寄せ頂いた件について、後日、競技委員会からの回答文書として、公正を期すために中央協会を通じて参加選手全員にお知らせいたします。

なお、課題に対する質問は選手に限り、代理者からの質問には一切お答えしません。

また、競技委員会や事務局などへの電話等による個別の質問にも、一切お答えしませんので、あらかじめご承知おき下さい。

その他、大会までの間に訂正、変更、追加連絡等が生じた場合もすべて中央協会を通じて全選手に公平にお知らせします。

平成21年9月11日

第47回技能五輪全国大会
『造園』職種参加選手 殿

技能五輪造園職種競技委員会
主査 宇田川辰彦

課題の質問に対する回答と寸法の訂正などについて

第47回技能五輪全国大会・造園職種競技課題に対する質問と追加事項について
下記の通り回答します。

記

1. 質問への回答 (Q & A集)

(1) 質問：竹垣用丸太の長さは2,400mmで良いのか。

回答：その通りだが、根入れの深さを考えて切断して良い。

(2) 質問：鳥瞰図は無いのか。

回答：ありません。

(3) 質問：水鉢の天端は水平にするのか。

その場合、台石になる石は加工しても良いのか。

回答：加工しない。水鉢には水を張るので、台石となる石をよく吟味して選んで据えること。

(4) 質問：自由植栽用の草花と下草7ポットは、ポットから外しても良いのか。
また、草花と下草の組み合わせは「草花7：下草0」などのような割合
でも良いのか。

回答：基本的にはポットを外さないが、どうしても必要なときは可とする。
割合は自由とする。

(5) 質問：石積み作業で、石のアタリは、取っても良いとあるが、どの程度まで可能なのか。

回答：選手の判断に任せる。

(6) 質問：石積み作業で、石本体を割ることはいけないのか。

回答：加工はしない。(競技課題の仕様を熟読すること。)

(7) 質問：①小舗石の半割れは、あらかじめ支給されるのか。

また、小舗石は加工してもよいのか。

②小舗石の規格が90×90×90mmとなっているが、どの石も正確に90mmになっているのか。

また、小舗石は割ったものが支給されるのか。

回答：寸法はおおよその数値である。

小舗石は一部加工の技術を見る。

(8) 質問：ゴロタ石敷きの外枠、両側のラインは決められた寸法はあるのか。

選手が適当に決めて良いのか。

回答：ゴロタ石敷きのラインは図面のように仕上げるようにする。

(9) 質問：ゴロタ石は加工しても良いのか。

回答：加工は出来ない。

(10) 質問：初日終了後、支給材料の樹木の根鉢が乾燥する恐れがあるので、ジョウロを持参し、水やりをしたいが良いか。

回答：ジョウロを持参することは選手の判断に任せるが、水遣りをする場合は、作業時間内に行うこと。

- (11) 質問：①石積みの天端は山のように傾斜をつけて良いのか。
②A-A' 断面図とB-B' 断面図では石積みの高さが 500mm と指定
されているが、頂端部分はどのように処理したら良いのか。

回答：B-B' 断面図の▼+500 の記述は削除し、石積みの頂端は山形に仕上げることとする。

2. 表記や記述に関する追加事項

- (1) 石積みの両端の石の高さ+300、+200 については、それぞれ石の一番外側の寸法とする。